

流山 九条ニュース

「九条の会・流山」事務局
石林 7154-7511 三原 7152-6559
山田 7144-3993



2016.11.1 NO.128

「九条の会・流山」HP：<http://www.nagareyama9.org/>メール：info@nagareyama9.org

核兵器禁止条約交渉開始 国連決議

日本政府は 核保有国とともに「反対」

10月28日国連総会第1委員会（軍縮）は核兵器禁止条約など核兵器の法的禁止措置について交渉する国連会議を来年開くとした決議を123カ国の賛成を得て採択しました。ところが唯一の被爆国日本は核兵器保有国の米ロ英仏などとともに対（38カ国）、中国など16カ国が棄権。決議はメキシコやオーストリアなどが主導し、55カ国以上が共同提案した。年内に総会本会議で採択され、正式な決議となる見通しだ。核兵器を法的に禁止する枠組みについて、国連で初めて本格的な議論が行われることになる。

しかし、核保有国側は交渉には参加しない構えで、核軍縮をめぐる国際社会の分裂が一層鮮明になった。

日本は「実効的な核軍縮は核保有国と非保有国の協力の下で進める必要がある」として反対。従来の保留でなく反対に回ったことに被爆者は失望。国際的にも批判が。

日本と同様、米国から「核の傘」の提供を受ける北大西洋条約機構（NATO）加盟国など欧州諸国も軒並み決議に反対した。

核兵器禁止条約を巡る採決結果 2017年交渉開始に ※は事実上の核保有国を含む		
賛成 123カ国	反対 38カ国	棄権 16カ国
決議案提出 オーストリア、メキシコ、南アフリカ、ブラジルなど	※核保有国 米国、ロシア、英国、フランス、イスラエル	核保有国 中国、インド、パキスタン
非核保有国 主に中南米、アフリカ、中東、東南アジアなど	米国の「核の傘」に依存 日本、韓国、ベルギー、ドイツ、カナダなど	その他 スイス、フィンランド、オランダ、スーダン、ニカラグアなど
その他 北朝鮮、イラン		

流山憲法学習会

「自民党改憲案のめざすもの」その3

11月23日（水祝日）

13:30～ 北部公民館2階講義室

戦争法の実働化、自衛隊の新たな任務付与で戦死者の危険が迫り、明文改憲さえも行われようとしている現在。改めて自民党などの狙いを明らかにしようとして学習会を続けています。

今回は自民党改憲案の狙いを「案」に即して検討したいと思います。そのために改憲案とその付属文書（Q&A）を取り上げ、自由に議論したいと思います。（自民党のホームページなどで見られます）

野党と市民は協力しよう

10.19 国会前集会

毎月19日は昨年9月19日に「戦争法が強行可決された日」に戦う決意を示す国会前の集会。

九条の会・流山でもできるだけ参加するようになっていますが、10月は3人でした。全体では6000人が議員会館前を中心に、戦争法に抗議し、自衛隊南スーダン派遣を許さないとの声をあげました。

日本国際ボランティアセンターJVCの谷山博史さんは、8月1日から始めた南スーダン避難民支援の状況を報告。「現地では簡単に人が殺されている。明らかに紛争状態だ。7月8日にまず大統領官邸の近くで武力衝突が起き、瞬く間に市内各地に拡大した。紛争の状況はいま軍と軍との衝突を超え、殺りくへと事態は発展している。これは紛争ではないのか。政府は『発砲事案』とし、現地の武装勢力を決して紛争当事者と認めない。なぜか。紛争当事者すると、駆け付け警護や共同宿営地防衛として自衛隊が武器を使用した場合、『武力の行使』に当たり、憲法違反になってしまうからだ」と指摘。その上で、「紛争現場の情報がゆがめられている。政府の行為に歯止めがかけられなくなると、私たちは戦争に巻き込まれていく。かつてもそうだった。だからいまが踏ん張りどころ」と訴えました。

総がかり行動実行委員会からは高田氏が参議院選挙の11名当選を喜ぶとともにこれを実現するためには大変な努力があったことを語りました。そして東京、福岡の補選でも大変困難な中、話し合いが続けられている。これを成功させるのは市民の声だと必死の訴えがありました。

行動として①防衛庁要請行動②新任務付与のための閣議決定への抗議行動③国会傍聴行動・憲法審査会への傍聴行動。（以上3点の日程未確定）④10月30日（日）南スーダン派遣反対の青森現地行動⑤11月19日（土）14時から、議員会館前での総がかり行動⑥12月10日（土）13時30分から、沖縄連帯の日比谷野音集会とデモ。などが行動されるとともに、沖縄の基地建設反対統一署名へのとりくみ呼びかけました。



原発(高速増殖炉)もんじゅ廃炉? だが研究開発は継続

自民党の茂木政調会長は9月20日、高速増殖炉原型炉「もんじゅ」について「廃炉も含め一定の決断をしなければならぬタイミングに来ている。政府の側でも、早期に廃炉も含めた抜本的な改善策を検討されるのでは」と述べた。



「燃料を作り出す夢の原子炉」として喧伝していたもんじゅには、すでに1兆円超の巨費がつき込まれたが、事故続きで過去22年間に250日間しか運転されていない。運転しなくても、設備維持に年間200億円ものコストがかかる。ではやめるかという、廃炉には約3000億円以上かかるという試算がやっと明らかにされた。しかし福島の子原子炉でさえ廃炉が難航しており費用も1兆円を越すともいう中で今後どうなるかわからない。

しかももんじゅはついに廃炉かと喜んでもらえない。核燃料サイクル政策は今後も堅持するとして、政府内に「高速炉開発会議」を新設し、年内に高速炉開発方針案を策定する。つまりフランスと協同などで開発は続けるというのだ。

すでに国内の原発は燃料プールの70%が使用済み核燃料で埋まっている。それを再処理する工場が稼働していない以上、いずれ“核のゴミ”があふれ、原発は運転中止にならざるをえなくなる。

戦争に組み込まれる科学者

新しく九条の会の世話人の一人となった
池内了氏の著書「科学者と戦争」岩波新書から

ドイツは18世紀の統一後、科学に力を入れ、物理、化学、生物、人類などすべての自然科学分野に研究所を作り、その研究者は教育や講義などは一切必要なく研究に専念できた。そして科学者は科学中心主義と愛国心でナチス国家に協力していった。日本でも同じように科学者の多くが、ただ研究心から唯々諾々と軍に協力していった。研究者はいま、研究費が欲しいため防衛省の研究をして委託費を手に入れようとする。しかしその研究は秘密で公表を制限され、学会に発表することもできず。研究者として評価されることもない。科大の研究費を絞り、学者を研究費で追い込み戦争に動員する経済的徴兵が始まっている。

ドゥテルテ大統領の反米

やんちゃなフィリピン大統領?

アメリカの大統領をものともせず乱暴にけなす大統領。麻薬撲滅のためには手段を選ばず超法規的に処刑する。ちょっと品がないとか暴言だとか物議をかもすが、とにかく成果を上げているのでフィリピンでは圧倒的な人気だという。

そのフィリピンがなぜ急旋回で反米に?という反応がある。しかし反米は唐突か?これは日本のマスメディアの偏った報道に一因があるのではなからうか。

長くスペインの植民地にされたフィリピン。19世紀アメリカは米西戦争の結果スペインからこの国を奪い植民地にした。この中で起こった独立運動を抑圧して、数十万人のフィリピン人を大量虐殺した。言葉も英語を公用語にして押し付けた。

第二次大戦で日本が一時支配したが、ここでも日米の闘いの中でフィリピンの民間人が犠牲にされた。そして大戦後また取り戻したが、アギナルドなどの独立運動が激しくたたかわれた。一旦独立を認めたふりをしながらスペインと謀ってつぶしてきた。結局アメリカはフィリピンの独立運動に抗しきれず、認めたが、その後もかいらい政権を作って操ったのだ。マルコスはその典型だ。



そのアメリカの大統領が麻薬撲滅のために麻薬常習者などを逮捕処罰しているやり方が人権無視だとか偉そうなことを言うな。というわけだ。その狙いがどこにあるかは明らかではないが、それがフィリピン大衆の喝采を受けていることは確からしい。

フィリピンの米軍基地撤去の運動成功の話を聞いた。フィリピンの上院でさえ米国に反旗を翻したのだ。長らく米国に協力し、支配してきた大地主階級の下での極端な格差社会の抑圧で親米の国の形をとってきたが、米国の言いなりにならないという底流があることを日本も知るべきではないだろうか。(石林)

総がかり行動実行委員会

11月19日(土) 14:00~
場所: 国会議員会館前
主催: 戦争させない・9条壊すな!
総がかり行動実行委員会

流山11月の行動予定

◆11月9日(水)「おおたかの森駅」
15:30~ 宣伝・署名、

カンパはこちらの郵便振替口座へ
00130-5-464735 口座名 九条の会流山